

『マスク・メジャーリーガー』のご紹介

その名の通り、マスク標準に厳しい米国でプレイできる資格を持つモデルとなるべくマスクの本質を徹底追求して作られたモデルで現在、世界で最も厳しいサージカルマスク標準を持つ米国や EU にも大量輸出されている国際ブランドです。

当マスクのスペックは次の通りです。

米国 (ASTM F2100-19)

	レベル I (サージカル)	レベル II (サージカル)	レベル III (サージカル)
BFE (細菌濾過率)	≥95%	≥98% >99%	≥98%
PFE (ウイルス濾過率)	≥95%	≥98% >99%	≥98%
呼吸抵抗 (ΔP) (mmH ₂ O/cm ²)	<5.0	<6.0 3.3	<6.0
液体浸透耐圧 (mmHg)	80	120 120	160
生体適合性 (ISO 10993 皮膚刺激性)	皮膚反応スコア平均 0.4以下	皮膚反応スコア平均 0.4以下 0.0	皮膚反応スコア平均 0.4以下
微生物清浄度 (EU標準) (ISO 11737)	30 CFU/g*未満	30 CFU/g 未満 1 CFU/g 未満	30 CFU/g 未満

青字: 米国標準値

赤字: マスク・メジャーリーガー検体測定値

*材料1gあたりに検出された菌数

米国標準レベル II と EU 標準タイプ II R 規格も同時にクリアしているマスクは現在(*), 当社が関知する限り 国内では唯一 当モデルだけ(のよう)です。

上記のスペックが生きるのは、顔面へのマスクのフィッティングがしっかりなされ、エア漏れが十分抑えられる場合です。エア漏れが起きる部分は①鼻梁周りと②マスクの左右両サイドであり、①対策として、ワイヤ入りの本格ノーズピースの採用、②に対しては、本体構造の周到な設計並びに、マスク本体外側へのゴムの取り付けをしています(他社品の多くは製造コストが低いという理由で、ゴムの取り付けはマスク本体の内側(顔面側)になっています)。

皮膚刺激性がないことに加え、マスク本体の建て付けの工夫により、唇がマスク内面につきにくくしていること等で長時間使用時の快適性を提供します。

バッタマスクや外からの病原性微粒物質の体内侵入阻止に無力に等しい花粉・風邪マスク・布マスク等が市中に溢れる中、『マスク・メジャーリーガー』は知る人ぞ知る孤高の存在として国内だけでなく海外でも根強い人気を得ています。

*2020年7月現在